

本県教育の目標

ひとりとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

いばらき教育プラン

基本理念
『活力があふれ、県民が
日本一幸せな県』
Ⅲ 「新しい人材育成」
茨城県の未来をつくる「人
財」を育て、日本一子供を産
み育てやすい県を目指します

青字は児童対象アンケートにおける
「そう思う、ややそう思う」の割合(R5.12月)

やさしくチーム

- 1 思いやりがあり、やさしい子どもの育成
 - (1) カリマネによる道徳の充実、人権教育の推進
 - (2) きまわりを守り、友だちと仲良くできる子どもの育成
 - (3) いじめ・不登校が生まれにくい学年・学級づくり
- ・いじめを許さない 97.3%
・きまわりを守り、友達と仲良くしている 96.2%
・クラスは安心して仲良く生活できている 94.8%

- 2 一人一人が強く規律ある学年・学級経営の充実
 - (1) 一人一人が安心して過ごすことができ、自己肯定感や有用感を高めることのできる「居場所づくり」
 - (2) 特別活動・体験活動の充実により、一人一人が他者との関わりを豊かにする「絆づくり」
 - (3) 「あいさつ」、「返事」等の「凡事徹底」
- ・学校は楽しい 95.4%
・元氣なあいさつをしている 91.3%
・自分にはよいところや得意なことがある 89.9%

- 3 組織的な生徒指導の推進
 - (1) 教員一人一人の生徒指導力の強化
 - (2) 未然防止・早期発見・早期対応(解消)の徹底
 - (3) いじめ対策ナビの活用

重点目標
・学校は楽しい
目標 100% ※95.4%(R5.12月)
・いじめを許さない
目標 100% ※97.3%(R5.12月)
・元氣なあいさつをしている
目標 95% ※91.3%(R5.12月)

校訓

学校教育目標 心ゆたかにたくましく夢や目標をもって生き生きと学ぶ児童の育成

めざす学校像 明るく楽しい学校 学び合える学校 協働し合える学校

めざす児童像 思いやりのあるやさしい子 生き生きと学ぶかこい子 心身を鍛えるたくましい子

めざす教師像 思い情熱と使命感をもつ教師 健康で人間性豊かな教師 理解力と指導力のある教師

組織目標

みんなが伸びる、組織力の向上

研究テーマ 見通しをもち 筋道を立てて考える力を高める算数科指導のあり方
- 「可視化」「焦点化」「言語化」の視点からの授業改善を通して-

かしくチーム

- 1 一人一人が生き生きと学ぶ授業の実現
 - (1) 学級の全員が意欲的に授業に参加することのできる教師の授業力向上
 - (2) 学級の全員が安心して授業に取り組むことができる学習規律の確立
- ・先生の授業はわかりやすい 95.7%
・授業では自分で進んで考えたり、友だちと教え合ったりしている 94.8%
・授業中、「式・図・言葉」「まず、次にだから」などを使って自分の考えをわかりやすく伝えられている 79.8%

- 2 家庭学習と読書の充実
 - (1) 家庭と連携し、力を伸ばす家庭学習の工夫
 - (2) 読書の充実
 - (3) タブレットの効果的な活用
- ・家庭学習に毎日、取り組んでいる 92.4%
・年間50冊を目指して読書している 77.9%

- 3 特別支援教育の推進
 - (1) 個に応じた支援体制の確立
 - (2) ユニバーサルデザインによる授業づくり
 - (3) 特別支援教育の研修推進(校外)

青字は児童対象アンケートにおける
「そう思う、ややそう思う」の割合(R5.12月)

重点目標
・授業がわかりやすい
目標 100% ※95.7%(R5.12月)
・家庭学習に毎日、取り組んでいる
目標 95% ※92.4%(R5.12月)
・年間50冊を目指して読書している
目標 80% ※77.9%(R5.12月)

たくましくチーム

- 1 ねばり強く、たくましい子どもの育成
 - (1) 豊富な運動量を確保できる体育の授業づくり
 - (2) 楽しみながら運動できる学校環境の整備
 - (3) 体力テスト等における課題の克服
- ・体育や休み時間に元気に運動している 88.0%

- 2 健康・安全教育の充実
 - (1) 健康・安全に関する学級活動の充実
 - (2) 生活・交通・防災安全教育の徹底
 - (3) 食育(給食指導・栄養教室)の推進
- ・「朝食・早起き・朝ご飯」を実践している 85.0%
・健康診断の結果に注意して、病院に行ってきたと治そうとしている 90.7%
・道路の歩き方や自転車のルールを守っている 96.2%
・給食は好き嫌いをせず、食べている 76.8%

- 3 安心・安全な学校づくりの推進
 - (1) 全職員が危機管理能力の向上
 - (2) 避難訓練、引渡訓練等の充実
 - (3) 命に関わる、食物アレルギー・感染症等への適切な対応

重点目標
・体育や休み時間に元気に運動している
目標 90% ※88.0%(R5.12月)
・給食は好き嫌いをせず、食べている
目標 80% ※76.8%(R5.12月)
・交通安全のルールを守っている
目標 100% ※96.2%(R5.12月)

古河市教育振興基本計画
「人が育ち文化の息づく
古河(まち)をつくる」

古河市学校教育の目標
○一人一人の個性や能力を
伸ばし確かな学びをはぐくむ
○健やかな体をつくり、
たくましい心を養う
○郷土古河を愛し、
豊かな心をつちかう

働き方改革チーム

- 1 いつも元気でがんばる
職場環境づくりと人財育成
(1) 持続可能な学校環境を目指す
業務改善の推進
(2) ビフォーコロナに轉られない
工夫改善
(3) 働き方改革の成果としての
人財育成
- ・「働き方が改善されつつある」教職員
の「そう思う、ややそう思う」の割合
77.2%(12月)

- 2 コンプライアンス遵守
 - (1) 校内コンプラ研修の充実
 - (2) 組織力が高い職場環境づくり
- ・「コンプライアンスを遵守し、不祥事が
起きにくい学校である」教職員の「そ
う思う、ややそう思う」の割合
91.0%(12月)

- 3 学校運営協議会
(コミュニティ・スクール)との連携・協力
(1) 地域の思いを反映した
学校運営の推進
(2) 地域・保護者・学校による
協働活動の推進

重点目標
・超過勤務時間、月45時間以内
目標 100% ※80%(R5年間)
・コンプライアンスを遵守し、不祥事が
起きにくい学校である
目標 100% ※91.0%(R5.12月)